

人権侵害に対する対策・対応

学校教育課

年度	対策名	対策・対応の内容
H29 ～ R2	校内研修等	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会等を通じて、いじめ問題について、教職員間で共通理解を図った。 ・県教育委員会が作成した資料等を活用し、研修会を実施した。 ・PTAとともにいじめの問題について協議する場を設けた。
	子ども達への指導	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳や学級活動の時間にいじめ問題について考えさせたり、児童・生徒同士の間関係や仲間づくりの機会を促進した。 ・インターネットを通じて行われる、いじめの防止及び、効果的な対処のための啓発活動を実施する。
	相談体制	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラー、養護教諭を積極的に活用して、教育相談体制を充実させた。

健康福祉課

年度	対策名	対策・対応の内容
H29 ～ R2	四万十町子ども支援ネットワーク	四万十町子ども支援ネットワークにて関係機関と連携し対応。

年度	対策名	対策・対応の内容
H29	四万十町権利擁護ネットワーク会議	高齢者及び障害者が受ける虐待その他の権利侵害に関し、その防止及び適切な支援について協議を行っている。また、必要に応じて個別の検討・支援も行っている。 (総会1回、高齢者個別支援会議4回・5件)
	養介護施設等従事者による虐待への対応	高齢者虐待防止法に基づく養介護施設の実地調査、再発防止に向けた指導、改善計画書の提出指示等
	研修会の開催	テーマ「高齢者虐待防止のための基本と権利擁護の視点」 講師：厚生労働省 社会・援護局 梅本 政隆 氏 対象者：介護支援専門員、介護業務に携わる管理者及び介護職、社会福祉士、病院相談員等 参加者：約80人
H30	四万十町権利擁護ネットワーク会議	高齢者及び障害者が受ける虐待その他の権利侵害に関し、その防止及び適切な支援について協議を行っている。また、必要に応じて個別の検討・支援も行っている。 (総会1回、高齢者個別支援会議5回・7件)
	養介護施設等従事者による虐待への対応	前年度の事案について、改善報告後3か月後、6か月後の再調査等～一旦終結
	研修会の開催	テーマ「クレームリスクマネジメント～権利擁護の視点から～」 講師：一般社団法人リスクマネジメント協会理事 浅野 睦 氏 対象者：介護支援専門員、介護業務に携わる管理者及び介護職、病院相談員等 参加者：約60人
	四万十町高齢者権利擁護マニュアルの改訂	養介護施設等従事者の虐待対応を含めた見直し。

年度	対策名	対策・対応の内容
R1	四万十町権利擁護ネットワーク会議	高齢者及び障害者が受ける虐待その他の権利侵害に関し、その防止及び適切な支援について協議を行っている。また、必要に応じて個別の検討・支援も行っている。 (総会1回、高齢者個別支援会議4回・4件)
	養介護施設等従事者による虐待への対応	高齢者虐待防止法に基づく養介護施設2か所の実地調査等実施。うち1件に再発防止に向けた指導、改善計画書の提出指示。
	研修会の開催①	テーマ「障害福祉における権利擁護の視点」 「地域共生社会に求められる多職種連携と意思決定支援」 講師：福岡県社会福祉士会副会長 稲吉江美氏 対象者：介護支援専門員、介護業務に携わる管理者及び介護職、病院相談員、相談支援専門員等 参加者：約30人
	研修会の開催②	テーマ「専門職・専門機関として知っておくべき虐待防止法の基礎知識と対応」 講師：福岡県社会福祉士会副会長 稲吉江美氏 対象者：特別養護老人ホーム職員
R2	四万十町権利擁護ネットワーク会議	高齢者及び障害者が受ける虐待その他の権利侵害に関し、その防止及び適切な支援について協議を行っている。また、必要に応じて個別の検討・支援も行っている。 (総会は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止〈文書による承認〉)。高齢者個別支援会議12月11日まで2回・2件)
	研修会の開催	健康福祉課と合同で、専門職種を対象に研修を行う予定(2月頃)。 テーマ案「虐待発生の心理状態・背景」 講師：高知県立精神保健福祉センター所長 山崎 正雄氏

年度	対策名	対策・対応の内容
H29 ～ R2	DV被害者等の保護のための住民基本台帳事務の支援措置	DV及びストーカー行為等の被害者の保護を図るため、被害者の申し出により住民基本台帳の閲覧や写しの交付を制限し、被害者の所在を加害者に知られないようにする。
R2	インターネット上の書き込みの削除	県は、インターネットのモニタリングを月1回行い、差別的な書き込みを発見した場合、管理者に削除を依頼している。